

ライフステージ	項目	必要な取組	令和7年度の岩倉市担当課の取組	学校教育課	長寿介護課	市民窓口課	商工農政課	福祉課	こども家庭課	維持管理課	環境政策課	生涯学習課	健康課	
子ども	生活習慣	子どもの頃から望ましい生活習慣（食・栄養や運動習慣、歯の健康や睡眠等）の獲得に向けた支援を、保護者を含めて行うことが重要です。	・母子保健事業に参加する保護者に集団指導を実施して、望ましい生活習慣について普及啓発する。育児相談等を通して保護者に望ましい生活習慣の獲得に向けて支援する。（健康課）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		20歳未満の飲酒や喫煙が身体に与える影響を知らせていくことと、子どもが飲酒・喫煙しない周囲の環境づくりが必要です。	・小学校6年生と中学校2年生を対象に保健の授業において喫煙防止をテーマに取り扱う。（学校教育課） ・小学校6年生と中学校2年生を対象に保健の授業において飲酒防止をテーマに取り扱う。（学校教育課）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	歯と口腔	本市においては、子どものむし歯が減少しています。その一方で、歯肉の状態は改善がみられない状況にあります。引き続き、生涯にわたり健康な歯・口腔環境を保つための保健指導や啓発を学校等や家庭と連携し進めていくことが必要です。	・母子保健事業に参加する保護者に集団指導を実施し、う蝕予防や口腔機能の獲得について普及啓発する。（健康課） ・保育園で乳幼児に正しい歯みがきや歯の大切さ等を伝える。（こども家庭課） ・小学校1～4年生の児童を対象にフッ化物洗口を実施する。（学校教育課）	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
	栄養・食生活、食育	本市においては、小学生の肥満傾向児の割合が増加しています。子どもの食習慣は家族、保護者の生活習慣の影響を受けていることから、保護者も含めて啓発や情報提供を行うことが重要です。	・母子保健事業の健康教育や栄養相談を通じて、保護者へ子どもの頃からの食の大切さについて情報提供を行う。（健康課） ・乳幼児を持つ保護者対象に野菜を使ったレシピを子育て支援アプリで配信する。（健康課） ・保育園児にクイズや紙芝居等を通して食育についての啓発を行う。（こども家庭課） ・肥満・やせについて注意が必要であると校医が判断した児童生徒に手紙を配布する。（学校教育課） ・栄養教諭が、全小中学校の給食時間に学年に応じた食指導を実施する。また、学校給食献立表の裏面に献立や旬の食材の説明などをまとめた「ひとことメモ」を記載し、児童生徒や保護者に対して、食に関する知識等の周知・啓発する。（学校教育課） ・献立作成委員会及び物資購入選定委員会に保護者の代表や各学校の給食主任が参加し、児童生徒の好み等を意見として給食の献立に取り入れる。（学校教育課）	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
	運動・身体活動	子どもの体を動かす機会が少なくなっています。学校における部活動も地域連携・地域移行が進むなどの背景もあることから、子どものスポーツや運動の機会を増やしていく必要があります。	・ポッチャ体験会や市民カローリング大会、交流会（4コートバレーボール、カローリング、歩こう会、餅つき&伝承遊び）、スポーツ教室など年間を通してスポーツイベントを開催し子どもが体を動かす機会を増やす。（生涯学習課）	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
	こころの健康	子どもたちの睡眠時間が短くなっているという問題があります。睡眠時間が短くなると、疲れやすい、気がわかないなどこころの健康に悪影響を及ぼします。子どもたちのこころが守られ、規則正しい生活が送れるように、保護者も含めて啓発や情報提供を行うことが重要です。	・ほっと情報メールを通じ、望ましい乳幼児の生活リズム（睡眠）について普及啓発する。（健康課）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
地域、社会	子どもが成長過程で社会性を育んでいくためにも、子どもの地域とのつながりは重要です。地域での交流を深める機会を創出していく必要があります。	・子ども会の入会案内についてホームページで周知する。（こども家庭課）	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×		
高齢者	歯と口腔	口腔機能の低下は全身のフレイルにもつながっていくことが指摘されています。自分の歯で、よく噛んで食べることを推奨し、高齢期のオーラルフレイルの予防を図ることが必要です。	・8020歯の健康コンクール表彰式を実施するとともに、広報、保健センター内の掲示による周知を行い、幅広い年代に歯の健康づくりについて普及啓発する。（健康課） ・口腔機能・歯科健康診査と要支援認定者 口腔機能・歯科健康診査を実施するとともに対象者に受診券を郵送し、歯科健康診査を受ける機会を提供し、オーラルフレイルの早期発見につなげる。また、リーフレットを受診券に同封するとともに地域のサロン等に健康伝道師を派遣し、高齢者にオーラルフレイルについて普及啓発する。歯科医師会と連携し、オーラルフレイルの早期発見と改善に向けた体制の整備について検討する。（健康課）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	栄養・食生活、食育	本市において低栄養傾向の高齢者が増加しています。また、一人暮らし高齢者が増加しており、食事づくりの負担などで、栄養に配慮することができにくくなる懸念が懸念されます。また、孤食が増えることなど、健康的な食生活を送りにくくなる懸念が懸念されます。そのため高齢者の食に関する様々な支援が必要となってきます。	・ひとり暮らし高齢者等生活支援型給食サービス事業により食事づくりの負担や栄養改善を支援する。（長寿介護課） ・健康フェアの展示を通じて食への関心を高めるようにする。また、栄養教室を実施し、調理体験を通じて食の大切さを学ぶ機会を提供する。（健康課）	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	
	運動・身体活動	本市においては、高齢者の歩数の減少や運動習慣者の割合の低下がみられます。フレイル対策の観点からも、市民が意識的に身体活動に取り組むことが重要です。	・快適に尾北自然歩道、五条川健幸ロードを利用できるように休憩所公園（児童遊園、休憩所含む）、健康器具、案内サイン等を適切に管理（各休憩所の修繕を随時）するとともに、各施設等の充実を図る。（環境政策課）（維持管理課） ・健幸づくりサポーターによる運動事業、スクエアステップ、シルバーリハビリ体操等を定期的に開催し、運動習慣者を増やす。（健康課）（長寿介護課） ・老人クラブと連携して多世代交流事業ふれあい歩け歩け大会を開催し、高齢者の歩数の増加につなげる。（長寿介護課） ・スポーツ教室やスポーツイベントを開催し、広報やすぐる等を通して広く市民に周知し参加を促し運動習慣者を増やす。（生涯学習課）（健康課）	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	こころの健康	地域での役立ち感、高齢者の心身の健康にも良い影響を及ぼします。高齢者のつながり、居場所づくりを様々な側面から支援していくことが重要です。	・サロンの立ち上げや運営に対して補助金交付による支援を行うとともに、生活支援コーディネーターと連携し、地域でサロン運営を担う人材を発掘に努め、高齢者交流サロン活動の活性化を促進する。（長寿介護課） ・こころの健康講座を実施し、こころの健康や栄養・睡眠の重要性について啓発を行う。（健康課）	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	
女性	生活習慣	妊婦の健康は胎児の健康や児の将来にも影響を及ぼすことから、妊婦の飲酒・喫煙や周囲の家族の喫煙による害及び妊娠中の口腔ケアの必要性について周知するなど、健やかな妊娠、出産に関する知識を普及することが重要です。（プレコンセプションケア）	・母子健康手帳交付時に喫煙や飲酒をしている妊婦に保健指導を実施する。また、同居家族に喫煙者がいる乳幼児健康診査受診者に禁煙を勧めるリーフレットを配布する。（健康課） ・プレコンセプションケアについて市ホームページで情報提供する。（健康課） ・妊産婦の自殺が重要な課題となっていることを踏まえ妊産婦及び関係者向けに特化したゲートキーパー研修を実施する。（福祉課）	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	
		40歳以降では更年期障害として体調不良や口腔内トラブル、情緒不安定などの症状が現れることがあり、更年期に入る前から、正しい知識や対処方法の周知、周囲の理解を図っていく必要があります。	・運動教室で更年期障害の対処方法について情報提供する。（健康課）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		女性は男性よりも転倒や骨折などのリスクが高いことから、高齢期における要介護状態を予防するためにも、骨粗しょう症検診の受診を促進していく必要があります。若い頃から骨密度が低くならないように周知啓発することが重要です。	・骨粗しょう症検診を12日間実施する。骨粗しょう症予防講習会を開催し、予防について啓発する。（健康課）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
		アンケート調査によると、健康診査やがん検診の受診率が男性よりも低い傾向があります。受診しやすい環境づくりに取り組む必要があります。	・がん検診の土曜日開催を実施する。（健康課） ・子連れで検診を受ける方を受け入れ、受診しやすいよう配慮する。また、ヤング健診受診者に乳がん自己検診法の健康教育を実施し、乳がん検診受診を勧奨する。（健康課） ・保健センターを会場とする特定健康診査と同日に肺がん検診を実施し、受診しやすいよう配慮する。（健康課）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	栄養・食生活、食育	本市における女性のやせの割合は増加しています。過度なダイエットは、妊娠・出産への影響や骨粗しょう症のリスクが高まるため、適正体重に関する知識の普及が必要です。	・体重管理の重要性について、子育て支援アプリで保護者に配信する。（健康課） ・骨粗しょう症予防講習会を開催し、予防について啓発する。（健康課）	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	